

## 「第 13 回アラブ人学生歓迎プログラム ASP2014」

総合政策学部 3 年 井川 英利奈

### 1. 内容

「アラブ人学生歓迎プログラム(以下 ASP)」は、アラブ諸国で日本語を学ぶ学生を約 2 週間 SFC に招聘し、研究会の活動の一環として、SFC でアラビア語を学ぶ学生たちと日本語レポート作成や日本語ビデオスキット映像の制作などを通じて行う、アラブ・イスラーム圏との学術交流プログラムである。

13 回目を迎えた今回は、11 月 2 日から 16 日まで、「わ」を全体の統一テーマとして、アラブ 3 か国から 5 名の日本語学習者を招聘して行われた。

日本語による個別の研究レポートの作成や日本語ビデオスキット映像の制作のほか、神奈川県立中央農業高等学校との交流活動、アラビア語によるディスカッションや授業、着付けや茶道をはじめとする日本文化体験、東京・鎌倉・富士山への小旅行などを行った。「作りながら学び、学びながら作る」というコンセプトのもと、実践的な活動の展開が、単なる相互理解にとどまらず、自分たち自身の変化への努力を通じて、互いに共有できるものを探究する契機となり、日本とアラブ、さらにはアラブ人同士の良い関係を作るプログラムとなることを目指している。

今年度の ASP の応募者総数は昨年度の 11 人から、27 人と飛躍的に増加した。また、今回招聘には至らなかったが、今まで繋がり無かったスーダンからも応募があり、確実に ASP の輪は広がりを見せている。



ASP 最終日の集合写真



着付けを体験するアラブ人学生

### 2. 目的

学問を追究する学生同士として、アラビア語を学ぶ SFC の学生と日本語を学習しているアラブ人学生が、日本語レポートの作成やスキット撮影を通じて互いに影響し合い、お互いが変わっていくことが本活動の目的である。最終的には、将来にわたって日本とアラブ世界の関係を友好的に発展させることのできる人物の育成を目指す。

### 3. 2014 年度統一テーマ『わ』 みんなにとっての『わ』を考える 2 週間』

本年度全体統一テーマの「わ」には、様々な意味が込められている。

アラブ人招聘者と研究会の学生が、単なる宗教や人種などの違いを超えて対「話」し、学問を追究する学生同士として共に学び、平「和」の「輪」をつくり出す。そしてその「輪」のつながりをおわりのない形(「環」)としてどのように築いていくか考えていくという想いがこの「わ」に込められている。また、アラビア語で「و」(ワ)とは、「〜と」という意味をもつ。これは、アラブと日本を「つなげ」、その架け橋となる学生を育てるという ASP の目標も表している。

### 4. ASP2014 の概要

日時:2014 年 11 月 2 日(日)～11 月 16 日(日)

場所:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)

参加者:・招聘者:シリア人学生 1 名、モロッコ人学生 2 名、ヨルダン人学生 2 名(計 5 名)

・SFC 側:奥田敦教授(全体統括)および実行委員(奥田敦研究会に所属する院生・学部生・ASP 卒業生 36 名)

### 5. 期間中の主なプログラム内容

11 月 4 日(火)	神奈川県立中央農業高等学校訪問・交流 奥田敦研究会 OB 菊池創太先生が勤務している神奈川県立中央農業高等学校を訪問し、高校生との交流のほか、餅つきや、和太鼓演奏を体験した。高校生による和太鼓演奏も鑑賞した。
-------------	---

11月6日(木)	<b>アラビヤ語インテンシブ3の授業に参加</b> SFCで行われているアラビヤ語インテンシブ3の授業に招聘者が参加した。アラビヤ語を学んで半年程の日本人学生と交流し、アラビヤ語学習のサポートをした。
11月6日(木)	<b>アラビヤ語ディスカッション</b> 日本語学習者である招聘者と、アラビヤ語学習者である日本人学生が、本年度統一テーマに関連して「日本とアラブの『わ』をつくるには、何をすれば良いか」という議題のもと、アラビヤ語を用いてグループディスカッションを行い、両者の言語を用いて結果報告をした。
11月7日(金) 14:45～	<b>プレゼンテーション「アラブ人の語るアラブ」</b> 奥田敦教授の講義『イスラームとイスラーム圏／現代文化探究』の中で、招聘者が各自の故郷とその魅力などについて日本語でプレゼンテーションを行った。本講義の受講者(約230名)との質疑応答の場も設けられた。
11月7日(金) 16:30～	<b>家庭訪問</b> 教員や学生のお宅を訪問し、日本人の暮らしの雰囲気を体感した。
11月10日(月) 11:10～	<b>着付け体験</b> 外部の先生をお招きし、招聘者が浴衣と着物の着付け体験をした。
11月10日(月) 14:45～	<b>茶道体験</b> 実行委員の中の茶道経験者によるお茶会が開かれ、茶道を体験した。
11月14日(金) 14:45～	<b>日本語レポート最終発表会</b> 招聘者と実行委員が協力して作成した日本語レポートの最終発表会を、奥田敦教授の講義『イスラームとイスラーム圏／現代文化探究』の中で行った。各招聘者の問題関心をもとに、SFCの教授、学生へのインタビュー調査や、日本人学生とのディスカッションなど、2週間の様々な体験を踏まえて完成させたレポートを、招聘者が本講義の受講者(約230名)の前で発表した。

※週末は鎌倉旅行、東京旅行、富士旅行へ出かけた。また、上記のプログラム以外は日本人学生とアラブ人学生が協働し、日本語によるレポート作成に計100時間ほど取り組んだり、日本語学習者の副教材を目指したスキットビデオの撮影を行ったりした。

ASP2014の成果の一部は、11月21、22日に東京ミッドタウンで開催された慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスオープンリサーチフォーラム(ORF2014)にて展示公開された。

## 6. 予算の執行

本活動の招聘者2名弱分の航空券代として、湘南藤沢学会「研究助成基金」からの助成による予算を執行する。

## 7. 参考資料

・本プログラムの活動が掲載されたWebサイト一覧:

- ・タウンニュース  
「慶應大SFC奥田研究会 アラブ人学生招き、交流」(<http://www.townnews.co.jp/0601/2014/11/28/261873.html>)
- ・SFC CLIP  
「終わりのない『わ』を築く 2日(日)からアラブ人学生歓迎プログラムASP始まる」(<http://sfccclip.net/news2014103101/>)  
「ムスリムは日本で何を食べているの!? ASPにおじゃま!【第1回】」(<http://sfccclip.net/column2014111402/>)  
「シリアからの招聘者ナダーさんに密着! ASPにおじゃま!【第2回】」(<http://sfccclip.net/column2014112101/>)  
「アラブと日本の架け橋に ASPにおじゃま!【第3回】」(<http://sfccclip.net/column2014112801/>)
- ・「アラブ人学生歓迎プログラムASP2014」公式webサイト(<http://nafidha.sfc.keio.ac.jp/webASP/2014/>)  
なお、本プログラムの詳細に関する活動報告書を現在作成中である。

## 8. 謝辞

本プログラム実施に際し、ご協力いただきました全ての皆さまに心より感謝いたします。なお、本プログラムの予算は2014年度湘南藤沢学会研究助成基金、その他の研究助成、寄付や学園祭での収益などから執行されました。